



巻頭言

小児外科 教授 /

よしざわ 吉澤
じょうじ 穠治



今年の秋はあっという間に過ぎ去り、ついこの前まで続いていた厳しい暑さから一転、急に冬の気配が訪れました。地球温暖化の影響を身近に感じる季節の変化は、私たちの生活環境が確実に変わりつつあることを静かに告げています。自然の移ろいの速さに驚かされる一方で、気候変動が私たちの健康や暮らしにも少なからず影響を及ぼしていることを実感する日々です。

そのような中で、世界各地からは紛争や貧困、災害などにより、子どもたちが安全に暮らすことさえままならない状況のニュースが届きます。どんな時代であっても、子どもたちが安心して笑い、未来に希望を持って生きていける社会を守ることは、私たち大人の責務であり、不断の努力を要する課題です。医療の現場に携わる者として、子どもたちの「いのち」と「こころ」を守ることの重みを改めて感じます。

当院小児外科には日本小児外科学会専門医が5名在籍し、そのうち3名が指導医として、豊富な経験と高い専門性をもって診療にあたっています。多様な症例に対して安全かつ的確な治療を提供できる体制を整えるとともに、他の小児専門診療科とも密に連携し、お子さま一人ひとりの状態に応じた最適な治療計画を立てています。新生児から思春期まで、外科的治療を必要とする幅広い疾患に対応し、安心して任せいただける医療を心がけています。

子どもは「小さな大人」ではありません。身体の構造や機能、成長の段階、そして心理的な背景は大人とは大きく異なります。私たちは専門的な知識と技術に加え、お子さまとご家族の思いに寄り添う姿勢を大切にしています。特に当科では日帰り手術を積極的に導入し、鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣などに対して「入院せずに帰宅できる」医療を実践しています。これはお子さまの心理的負担を軽減するだけでなく、保護者の方々の時間的・経済的な負担軽減にもつながっています。また、急性虫垂炎や腸重積症など、緊急対応を要する疾患にも速やかに手術・処置を行える体制を整えています。

子どもたちは、治療を乗り越える強い力を秘めています。私たち小児外科医は、その力が最大限に発揮されるよう、安心と信頼に基づく医療環境を提供することを使命としています。これからも地域の皆さまと力を合わせ、お子さまの健やかな成長と幸せを支える医療を続けてまいります。



第140号のトピックス

- ・巻頭言（小児外科）
- ・防災訓練を行いました
- ・世界早産児デーイベントを開催しました
- ・第21回公開講座動画公開のお知らせ
- ・江東区立豊洲西小学校との交流
- ・年末年始休診のお知らせ
- ・クリスマスイルミネーション点灯のお知らせ
- ・ご意見・ご要望
- ・編集後記

防災訓練を行いました

11月13日（木）に令和7年度防災訓練を実施しました。今回の訓練では、東京湾北部で大規模地震が発生したと想定し、災害対策本部の立ち上げと、本部における情報収集活動、各部署から本部への被害状況報告について訓練を行いました。



災害対策本部訓練では、DMAT 隊員と情報部門担当者が協力して各部署からの被害状況を収集し、院内のインフラや患者数・職員数等を速やかに把握しました。

また、災害対策本部訓練と並行して、病院の一部施設を使用してのトリアージ活動訓練を実施しました。訓練参加者はトリアージエリアの設営、模擬患者の診療・搬送、トリアージタグの記入等の活動を通じて、災害発生時の患者の初期対応について、理解を深めました。

トリアージとは？

災害時に多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために、傷病者に治療優先順位を決めることをいいます。



救急病棟の一部を使用して、重症患者用のエリアを立ち上げ、模擬患者の対応を行いました。

世界早産児デーイベントを開催しました

11月17日は「世界早産児デー」です。世界で生まれる赤ちゃんの10人にひとりが早産で生まれています。早産児とは、妊娠22週から37週未満で生まれた赤ちゃんのことを指します。このイベントの主旨は、早産についての認識を高め、世界中の早産児とその家族の関心を高めることです。

当院では、啓蒙活動の一環として周産期センター・NICUにポスターを掲示しました。また、公式カラーにちなんだラベンダー色のマスクを着用し、勤務しました。



NICU スタッフ

第21回公開講座動画公開のお知らせ

10月13日（月・祝）に当院で開催した第21回公開講座『今日からできる！健康対策 ～寝たきりにならないための食事療法～』の講座内容を、当院ホームページにて12月1日（月）～3月31日（火）の期間限定で公開しています。ぜひご覧ください。

『今日からできる！健康対策 ～寝たきりにならないための食事療法～』

演題：「**自宅でできる褥瘡治療 ～それは予防～**」

演者：昭和医科大学江東豊洲病院 皮膚科 特任教授

永田 茂樹（ながた しげき）

演題：「**食事で防ぐフレイル・サルコペニア ～健康寿命を延ばす栄養法～**」

演者：昭和医科大学江東豊洲病院 栄養科 管理栄養士

宮永 直樹（みやなが なおき）



<https://x.gd/Qhqq4>

Report

江東区立豊洲西小学校との交流

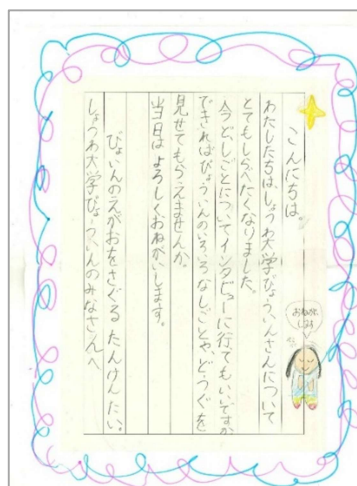
当院では、地域の皆さまと共に歩む病院を目指し、江東区立豊洲西小学校の児童の皆さんに医療や健康について理解を深めてもらえるよう、病院見学や職員による授業協力を行っています。

10月21日（火）は5年生、10月23日（木）・10月24日（金）は2年生の皆さんが訪問し、インタビューと施設見学を行いました。

当院はこうした活動を通じて、未来を担う子どもたちに医療への関心を持っていただけるよう、今後も取り組みを続けてまいります。



上段：5年生のインタビュー
下段：2年生の施設見学



2年生の皆さんより依頼状をいただきました

年末年始休診のお知らせ

2025年12月29日（月）から2026年1月3日（土）は、年末年始のため休診となります。あらかじめご了承ください。

クリスマスイルミネーション点灯のお知らせ

1階エスカレーター下にクリスマスツリーの設置と正面玄関前のイルミネーションを実施しています。ご来院の際はぜひ、クリスマスのイルミネーションをお楽しみください。



昨年のイルミネーション



ご意見・ご要望

ご意見	回答
入院した時に他の患者さんもいらっしゃる病室の中で、ある看護師の方から、お薬の数について詰問を受けました。 体調が優れず、ちょうど輸血を終えた直後でもあったため、正直なところ少し驚いてしまいました。	この度は、病棟のスタッフの行動に対して不快な思いをさせてしまったこと深くお詫び申し上げます。 大切なお薬を取り扱うため、言葉かけが至らなかったと思います。また、輸血といった体に負担をかける治療の後であったのにも関わらず、お薬の確認をしてしまい、配慮が不足しておりました。 今後はどのような場面でも接遇を心がけるように指導いたします。

編

集

後

記

はやくも師走、今年も残すところあとわずかとなりました。街にはイルミネーションが灯り、寒いなかでも華やかな雰囲気が始めています。今年一年間の「病院だより」の制作を通じて、当院の様々な取り組みや編集委員の日常で感じたことをお届けできたことと思います。皆様にとって、この一年が健やか、または穏やかな年であったなら幸いです。来年も皆様に役立つ情報をお届けできるよう努めてまいります。どうぞ良いお年をお迎えください。

周産期センター / おおつき かつみ
大槻 克文



昭和医科大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>
〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38
TEL03-6204-6000(代表)
発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和医科大学江東豊洲病院
ホームページ